

# TEGOネットだより浜田

平成20年4月8日 第11号

はじめに

てご・・・とは、方言で「手伝う（支援）」の意味です

昨年4月に支援センターが誕生し、早いもので1年が過ぎようとしております。職員の異動も一部はありましたが、専任のセンター長を迎え、職員一同初心に戻り、農業者の皆様の相談や問題解決に向けてご支援させていただき所存です。

今後益々進むであろう耕作放棄地、それに伴う限界集落や危機的集落の維持対策についても、浜田市の現状把握をしながらモデル地域を設定し、中山間地研究センターや島根県立大学とも連携を取りながらその対策の構築を進めていきますので、皆様のアイデアやご意見も積極的にお寄せください。

## 目次

1. 人事異動に伴うメンバー変更について
2. 各支援チームの動きについて
3. 行事予定について

「水と緑の森づくり」キャラクター



## 1. 人事異動に伴うメンバー変更について

### 4.1付人事異動によりメンバーが変わりました！！

#### 浜田市農林業支援センター職員

( ) は旧メンバー、異動先

##### 浜田市農林課

齋藤 實 ※支援センター長 (三浦 和成 ※産業経済部長)  
佐々本 芳資郎 ・ 河内 誠一 ・ 前原 健一 ・ 森井 洋  
松井 和雄 (末田 敦史 ※医療保険課)

##### J A いわみ中央

塚本 守 ・ 前田 妙子 ・ 石橋 しおり

##### 島根県西部農林振興センター

大畑 元造【総合担当】  
内田 芳朋【果樹担当】 (安田 雄治 ※出雲事務所農業普及部)  
陶山 研治【農産担当】 (今井 裕作 ※農業経営課)  
福間 靖徳【野菜担当】 (鶴永 健治 ※農業技術センター技術普及部)

## 2. 各支援チームの動きについて

### ★ 新規就農支援チーム 担当：河内<sup>かわうち</sup>・佐々本<sup>ささもと</sup>

## シリーズ「企業参入について」その2

農外企業が農業参入する方法については、前号でお知らせしたとおりです。農業へ参入を目指す動機は、経営の多角化や地域貢献など企業によってさまざまですが、検討していく内容は①作物の選定 ②技術習得と人材育成 ③販路開拓 ④経営試算と資金繰りなどです。

農外企業であっても農業部門会計を導入し、認定基準(5年後の所得目標など)をクリアすれば「認定農業者」になれます。認定農業者になれば農業制度資金の活用ができるなど、多くのメリットがあり、初期投資や運転資金などの資金繰りが可能となります。(次号へ続く)

● 認定農業者支援チーム 担当：前原・松井

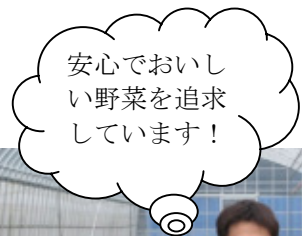
今回は、金城町で施設軟弱野菜の経営に取り組んでおられる認定農業者、佐々原洋道さんを紹介しします。

施設軟弱野菜の栽培に取り組まれて早くも10年が過ぎたとのことであり、平成13年からは有機JASの認証を取得し、生協やスーパー等への契約出荷により安定経営を目指しておられます。

これまで研究してきた土づくり技術にさらなる磨きをかけ、定期的な土壌分析による適切な施肥設計を実践することにより、収量アップ・作業の効率化を図られています。

「ACスマイル」の会長も努めるなど、地域をけん引する若い農業者として今後ますます活躍が期待される佐々原さんを支援センターでも応援していきます！！

(※ 「ACスマイル」・・・金城町の青年農業者11名で組織する団体)



■ 集落営農支援チーム 担当：塚本・森井

## “農事組合法人 伊木いき区田”誕生！

集落営農法人では浜田市で5例目となる農事組合法人「伊木いき区田」(金城町伊木集落 組合員31名、経営面積約10ha)の設立総会が3月23日(日)に開催されました。平成19年から中山間地域等直接支払制度において法人加算を受けるなど、特定農業法人設立に向けての話し合いが本格化し準備を行ってきました。

区田とは「圃場」という意味で、「構成員が“自分のできる範囲”で農作業に参加することによって伊木集落内の区田(圃場)を完全に生かし、いきいきと活動する」を目的に、水稻約4ha、大豆約4haの栽培を中心に活動されます。

当支援センターにおいては、各関係機関と連携して法人設立に向けて合意形成等の支援を行ってきました。今後も引き続き運営体制・経営指導等を支援していきたいと考えております。



(農)伊木いき区田設立総会 3/23(日)

### 3. 行事予定について

- 4/13(日) 9:00~15:00 有機農業実践セミナー(水稻栽培コース) (弥栄会館)
- U・Iターン向け農業研修(農業大学校) 募集期間 4月18日まで

### ■■ 編集後記 ■■

今年度第1号目のTEGOネット発刊となります。4月1日の人事異動により、市も県もメンバーが大きく入れ替わっております。今後は新メンバーで更に支援体制を強化し、皆さんのお役に立てるよう、精一杯がんばってまいります。引き続き、当センターをよろしく申し上げます。

最後に、当情報誌の編集を担当してまいりました私末田ですが、4月1日付けの人事異動で医療保険課国保係へかわることになりました。支援センターの立ち上げから関わらせていただき、活動も軌道に乗り始めたところだけに大変残念ではありますが、これまでの経験や出会った方々を宝にし、今後の市役所人生を歩んでいきたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願いいたします。また、ご迷惑をおかけした場面も多々あったこと、この場を借りてお詫び申し上げます。大変お世話になりました。【末田 敦史】

- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター TEL: 22-3500 FAX: 22-3477  
E-mail: hama-nou-shien@bz03.plala.or.jp